

**平成29年度予算
需要家側エネルギーリソースを活用した
バーチャルパワープラント構築実証事業**

平成29年4月12日

**資源エネルギー庁
新エネルギーシステム課**

需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業について

平成29年度予算額：約40億円

事業の内容

事業目的・概要

- 東日本大震災後、従来の大規模集中電源に依存した硬直的な供給システムを脱却するとともに、急速に普及している再生可能エネルギーを安定的かつ有効に活用していくことが喫緊の課題となっています。
- こうした状況に対応するため、高度なエネルギーマネジメント技術により、需要家側に設置される蓄電池や再生可能エネルギー発電設備など、分散して存在するエネルギーリソースを遠隔・統合制御し、あたかも一つの発電所（仮想発電所：バーチャルパワープラント）のように機能させることで、需給調整に活用する実証事業を実施します。
- 本事業では、
 - ①遠隔制御可能な蓄電池やヒートポンプ等エネルギーリソースの普及拡大
 - ②統合制御に係る技術実証等の実施
 等に取り組む、需要家側エネルギーリソースの有効利用及び需給調整への活用を通じて、再生可能エネルギーの導入拡大及び更なる省エネルギー・負荷平準化、系統安定化コストの低減を目指します。

成果目標

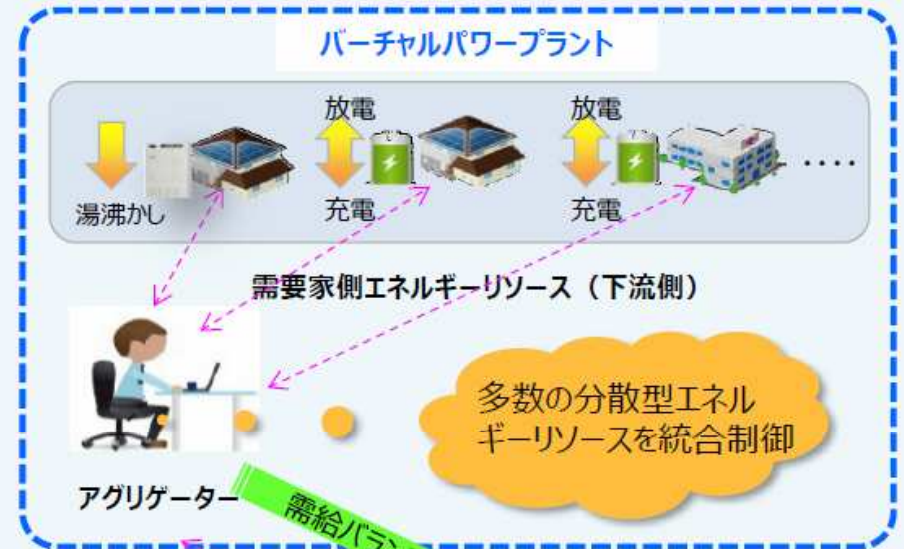
- 平成28年から平成32年までの5年間の事業を通じて、50MW以上の仮想発電所の制御技術の確立等を目指し、更なる再生可能エネルギー導入拡大や省エネルギー・負荷平準化等を推進します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



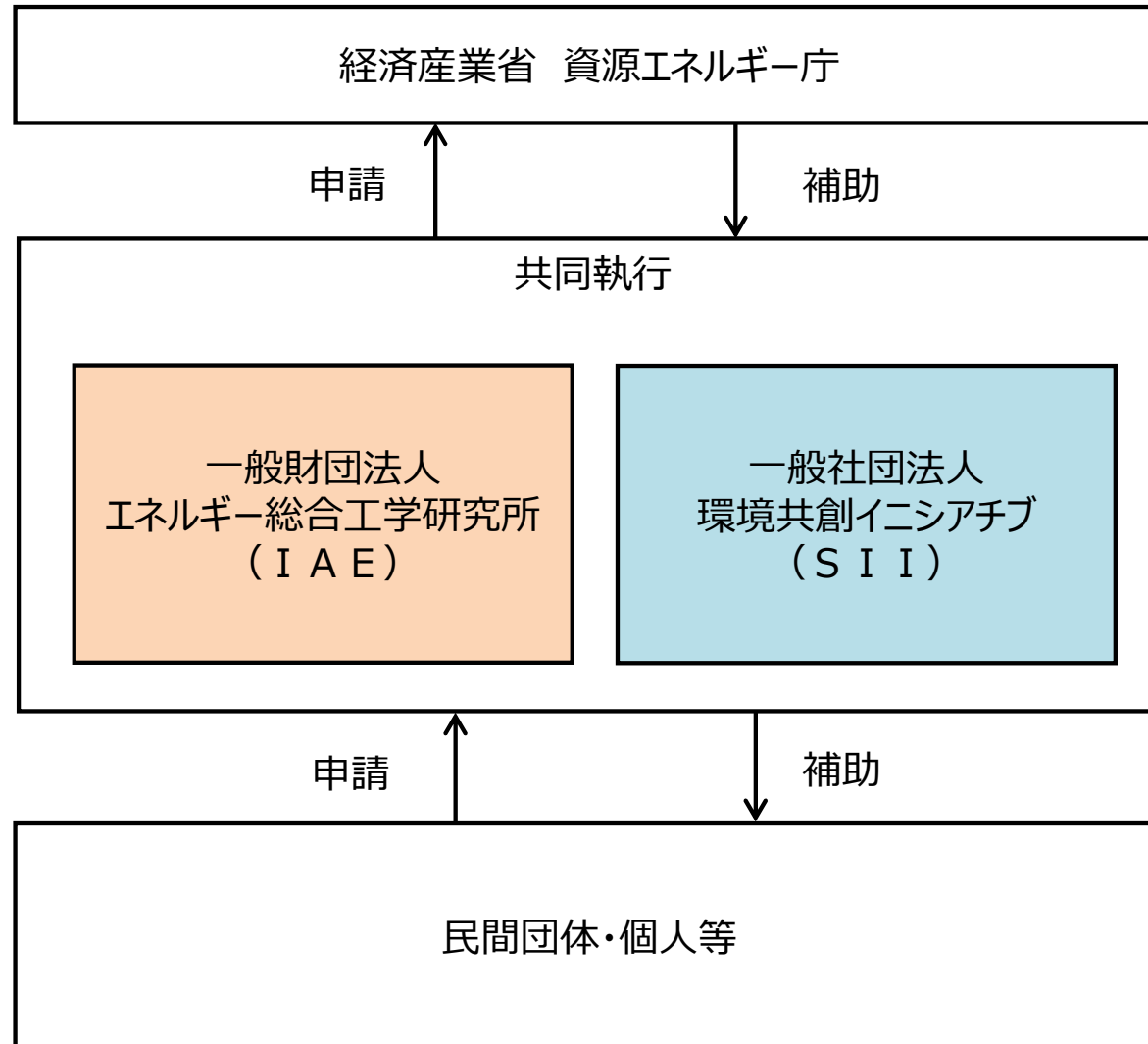
事業イメージ

蓄電池やヒートポンプ等のエネルギーリソースを活用したビジネスモデルの確立



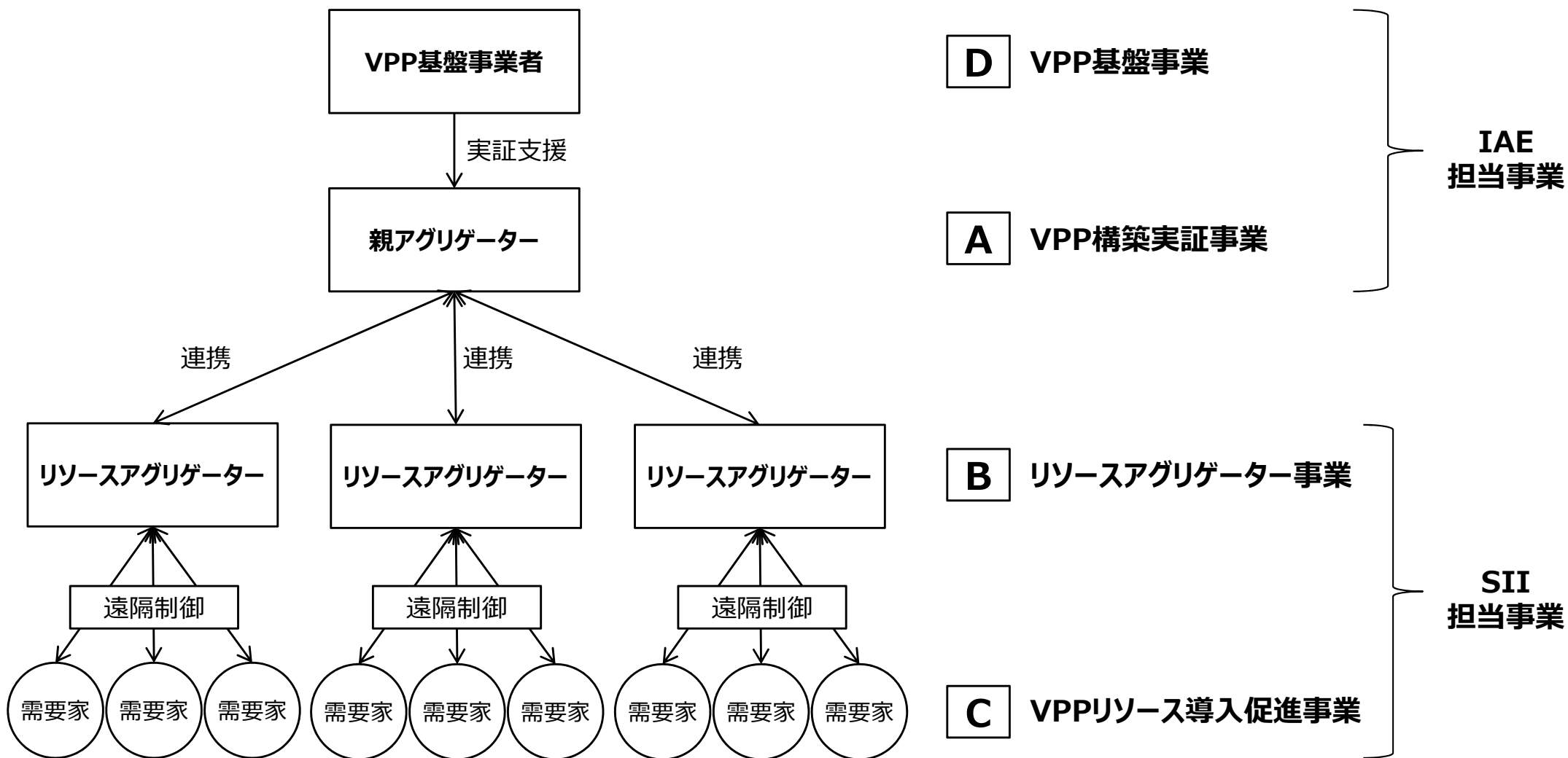
事業スキーム

- 本事業は、一般財団法人エネルギー総合工学研究所(IAE)と一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)が共同で執行を行う。



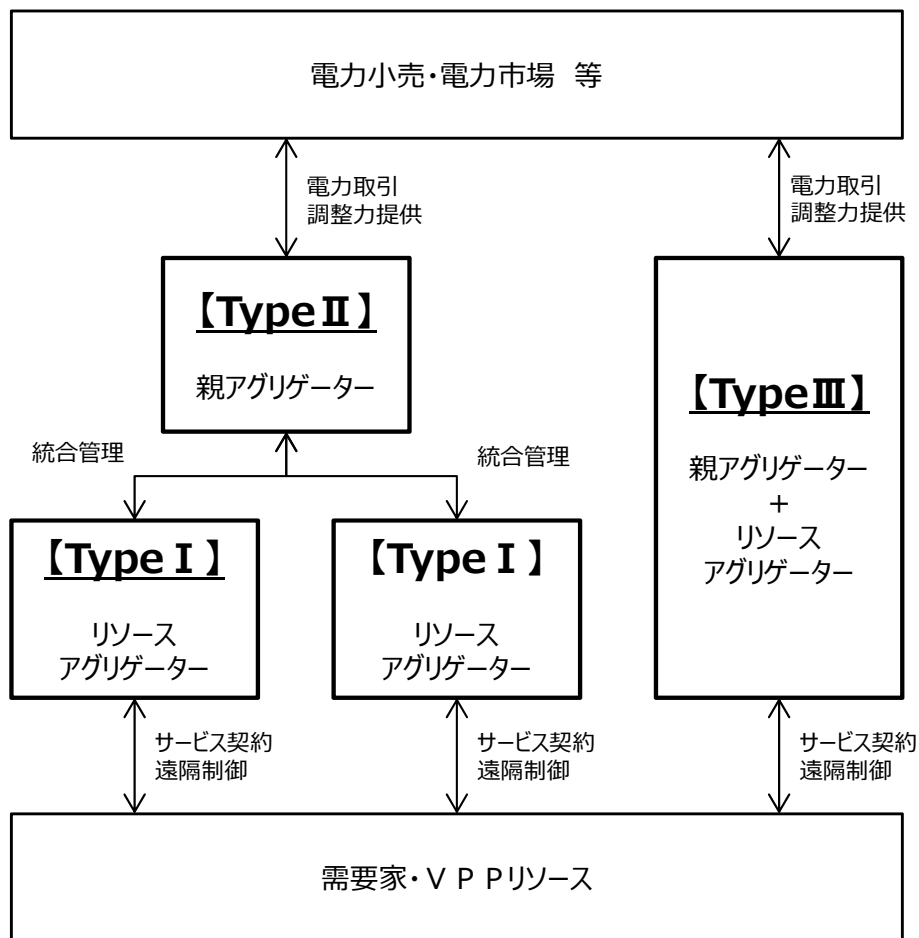
事業分類

- 本事業は、以下4つの事業を実施する。
- 事業によって申請先が異なるので、公募要領を確認の上、申請を行うこと。



アグリゲーター分類

- 本事業では、業務範囲に応じてアグリゲーターを3つのTypeに分類する。



分類	概要	申請事業/申請先
Type I	Type IIもしくはⅢの事業者と連携し、 需要家とVPPリソースの制御に関する契約を直接締結 、VPPリソースの遠隔制御・統合管理を実施する事業者（リソースアグリゲーター）	B事業/SII
Type II	需要家とは直接VPPリソースの制御に関する契約を締結しないものの、 複数のType I事業者の上位で統合管理 を行い、電力小売や電力市場等で取引等を想定した実証を行う事業者（親アグリゲーター） ※親アグリゲーターの業務を一部担う事業者のうち、電力小売や電力市場と直接契約や取引を行わないものも含む	A事業/IAE
Type III	Type I・IIの双方を実施する事業者 ※親アグリゲーター及びリソースアグリゲーターの業務を一部担う事業者のうち、電力小売や電力市場と直接契約や取引を行わず、また需要家とVPPリソースの制御に関する契約を直接締結しないものも含む	A・B事業双方 /IAE・SII双方

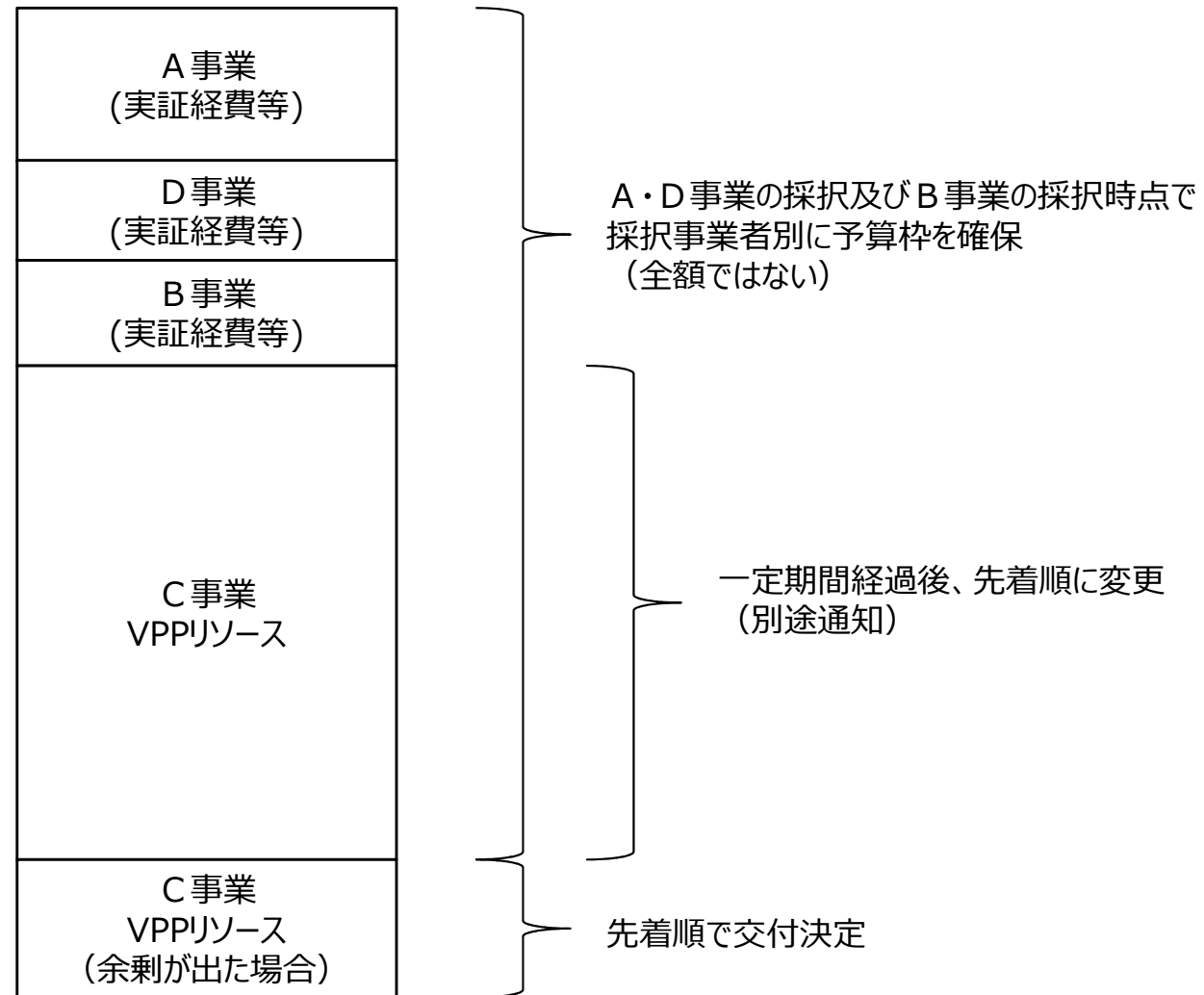
申請パターンと注意事項

- 申請パターンと注意事項は下記の通り。TypeⅢのみ双方への申請が必要になる。

Type	申請先	注意事項
I	SII (B事業)	<ul style="list-style-type: none">• TypeⅡ・Ⅲの事業者を必ず指定すること、複数のTypeⅡ・Ⅲ事業者の指定も可能。• 指定したTypeⅡ・Ⅲの事業者が全てA事業で不採択となった場合、リソースアグリゲーターも登録されない。ただし、本事業期間中にA事業で採択されたTypeⅡ・Ⅲの事業者と連携できた場合、随時登録を行う。
Ⅱ	IAE (A事業)	<ul style="list-style-type: none">• TypeⅠの事業者を必ず指定すること。指定したTypeⅠ事業者が全てB事業で採択されなかった場合、A事業で採択されない。
Ⅲ	IAE SII 双方	<ul style="list-style-type: none">• B事業の採択要件を満たさない場合には、TypeⅢとしては採択されない。B事業で採択されたTypeⅠの事業者と連携できたれば、TypeⅡとして採択する。• A事業で採択された場合でもB事業の採択要件を満たさない場合は、B事業では採択されない場合有。• A事業で採択されたTypeⅡ・Ⅲの事業者と連携できれば、TypeⅠは採択する。

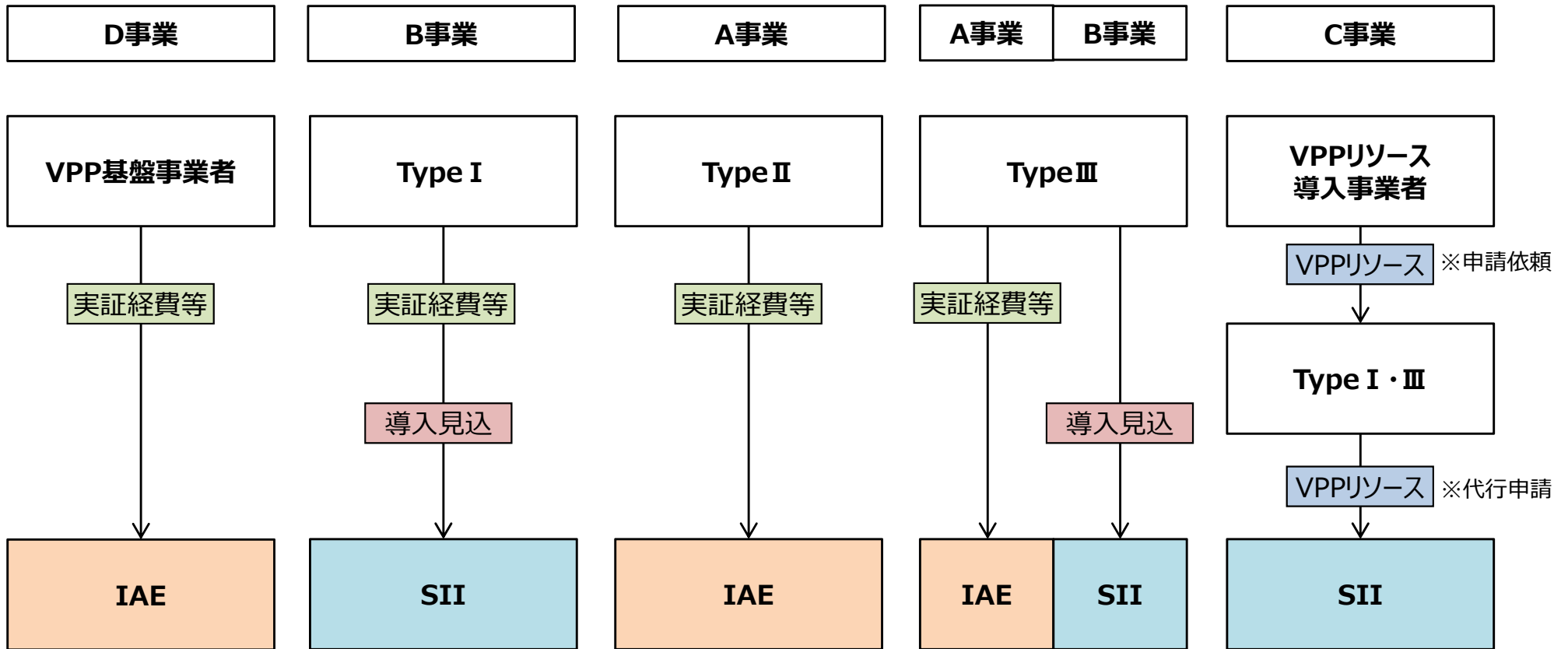
予算配分に関して

- 公募開始時点では各事業に予算枠は設定しない。
- 全事業の公募締切後、申請金額に応じて各事業の予算枠を検討する予定。



応募パターン別の申請先

- 各事業とアグリゲーターの分類に応じた申請先と申請項目は以下の通り。
- 実証経費は各事業でIAE・SIIへ申請し、導入見込はSIIへ申請すること。
- C事業はType I・Ⅲの事業者が導入事業者を代行して申請すること。
- アグリゲーターがVPPリソース導入事業者となる場合、C事業で申請を行うこと。(A事業への申請ではない)



導入見込はSIIが親アグリ別に集計してIAEへ連携